琉球大学ＳＤ研修
「令和２年度評価・ＩＲ研修（応用編・４回シリーズ)」を開催しました

本学では、事務系職員の能力及び資質向上を目的として、体系的なＳＤ研修を実施しています。

今回は、そのうちの若手事務系職員の選択科目である「令和２年度評価・ＩＲ研修（応用編・４回シリーズ)」を大学評価ＩＲマネジメントセンターの主催で３月上旬にオンラインにより実施しました（実施日：令和３年３月８日、１１日、１５日、１７日)。

本研修は、令和２年１２月に開催された基礎編をベースに、より実践的なＩＲ業務に触れることで、職員のデータ分析・解釈能力と資料作成・プレゼンテーション能力の向上を図ることを目的としています。研修の講師は当センターの高橋望講師が務め、事務系若手職員ら６名が受講しました。

第１回目は、ＩＲの概略や基本的な手法（環境スキャンやベンチマーキング等)、当センターが実施したＩＲ事例を交えたＩＲの手順についての講義が行われました。

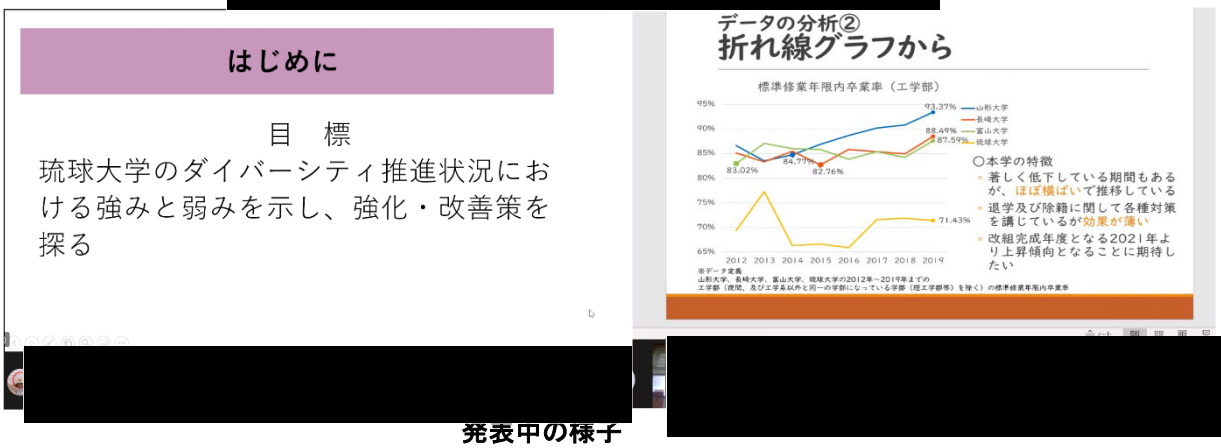
第２回目の前半は、大学ポートレートに関するデータを教材にして、BI ツールを用いたデータ処理や可視化の方法について演習が行われ、後半は同教材等をもとに「本学の強み・弱みをベンチマーキングにより明らかとし、強みを向上、弱みを改善する施策を提案する」という目的でＩＲのグループワークが行われました。第３回目も引き続きグループワークが行われました。

第４回目は、当センター長の越野泰成副理事・副学長（評価・ＩＲ担当）をゲストに迎え、各グループがグループワークの成果を発表しました。発表では、多様な視点からＩＲに基づく本学の強みの向上・弱みの改善のための施策が提案され、越野センター長を含め活発な議論がなされました。

研修後のアンケートでは、「推測と違う結果を数値でみるなど、いろんな発見がありました。」「このような機会がないと、業務外の特定の課題に取り組むことは普段ないので、とてもよい経験になりました。」「自分で客観的にデータを見ることを意識しつつ、他者からの評価を得ながら進めていくことが、実態に即した分析につながっていくということを学ぶことができました。」等の意見が寄せられ、研修を通して多くの気づきが得られました。

評価・ＩＲはＰＤＣＡサイクルによる内部質保証実現のための仕組み・ツールであり、本学構成員には評価・ＩＲについての理解が求められています。当センターは、研修を継続することにより、これらのマインドを涵養し、内部質保証を推進する環境を整えていきます。

[redacted]



[redacted]

発表中の様子